

# 真観

立正佼成会附属佼成病院ニュース

三  
宝

平成廿四年  
元旦



燈  
明

平成廿四年  
元旦

## 目次:

地域の中核病院として

2

新病院に向かって  
基本・原点に戻る

3

辰年生まれの抱負

4

新入職医師紹介

5

診療科紹介 整形外科

6

II 循環器内科

7

クリニック訪問

8

クリスマスコンサート  
キャンドルサービス

11

認定看護師の紹介

12

外来診療表

14



1月7日の「御親教（庭野会長が1年の心構えを説き、教団の活動や年次目標を示す式典）」で、庭野会長による書き初め『三宝』と『燈明』が聖壇上に掲げられた。庭野会長は、「教団創立70周年に『三宝』が整ったという意味で選ばせて頂きました。『三宝』は『仏』『法（仏の教え）』『僧（仏の教えを実践する人々）』のことです」と話した。また、「私たちは、開祖さま、脇祖さまを通して、仏さまの教えに結縁（けちえん）されておりますから、自らが『燈明』になって世の中を明るくしていこうという意味合いを込めました。皆さんと共に、仏さまの教えを頂いて、世の中を照らす『燈明』となってまいりたい」と書に込めた願いを示した。

## 理念

一、佼成病院は、立正佼成会の社会事業の一環として存在する。

一、佼成病院は、地域住民の健康な生活を支える中心的な役割を果たす。

一、佼成病院は、医療の使命に情熱を燃やす職員で構成する。

## 年頭のご挨拶

### 地域の中核病院として

院長 神保 好夫

新年おめでとうございます。

平素より、佼成病院に対し一方ならぬご支援ご厚情を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は3月11日に大震災が発生し日本の存亡に係るような大事件もありました。また当院にとっても大変な医療過誤事件も発生しその対応、再発防止策などに明け暮れ本当に大変な年でした。

大晦日と正月というのは誰が考えたのか、なぜこのようなシステムを作ったのかは詳細には知りませんが、年を越すと、また新年を迎えると、昨年は悪い年だったけど、「今年こそ」という気持ちにさせてくれます。元来人はミスを起こすので、お釈迦様が考え出したのでしょうか?しかしながら、歴史は繰り返します。毎年、今年こそはいい年にしようと、いつも言っているようにも思いますが、いかがでしょうか。院長となり初めての新年を迎えましたが、病院ではこんなことを言っている余裕はありません。今年こそは駄目です。今までの悪かった点を反省し、それを検証し、現場にフィードバックさせることの繰り返しで、いい年にしていくしかありません。新年は、ほんのきっかけと思って気を引き締めて病院運営を行っていく所存ですので、ご協力のほどお願い申し上げます。



さて、昨年度病院運営の基本的な軸として3つあげました。

①質の高い医療の提供 ②断らない医療の実践 ③良好な医療連携の構築、ですが、少なくとも断らない医療の実践に関しては、多くの職員から反発を受けましたが、大分救急車断り率が減少してきています。今年度も救急受け入れ率を高くして、真の急性期病院に相応しい病院を目指したいと考えております。さらには紹介患者さん、新規患者さんをあまり待たせないようなシステムを構築し、地域の医療機関から気楽に紹介をしていただけるような病院にしていきます。また、逆紹介も積極的に行います。逆紹介が少ないとやはり新規の紹介患者さんの受け入れ増加にはならないと考えています。そうすることにより、真に地域の中核病院としての役割を果たしていこうと思います。これには多大なエネルギーが必要になります。当然再診患者さんは逆紹介を積極的に行い徐々に再診比率を低くしていきませんと、新規患者さんを診る時間ができません。なかなか難しい問題ですが、一步踏み出さないと前進しませんので失敗を恐れずに舵を切ろうと考えています。

救急と、地域連携は2025年を目標に日本の医療が目指しているロードマップの要にもなっていますし、2012年度の医療目標にも挙げられています。したがって、当院の方針には間違いはない信じております。

さらに言えば、本年は上記3つの運営軸に、医療安全の充実を加えます。あたりまえのことですが、このあたりまえのことをきちんと行えるような基本姿勢を再確認する意味でも本年は繰り返し、この言葉も言い続けていく所存です。

ところで、新佼成病院はようやく基本設計が終わり、今年中には本格的な工事に入り、平成26年中には素晴らしい病院が出来上がる予定です。現在は細部の修正ならびに医療器械の選定などに苦慮している段階です。だいぶ前から新病院のことは言われていましたが、ようやくですので、もう少しお待ち下さい。

私も院長になり2年目を迎えます。院長職に少しずつ慣れては來ているものまだまだ新参者です。開かれた院長室を心がけていますので、院外からの苦言などいつでもお受けします。これからも皆様のご指導ならびにご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 新病院に向かって

事務部長 藤谷 榮次

皆様、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、東日本大震災という未曾有の大災害に襲われ、日本中が震撼させられました。

犠牲となられた方々と、被災された皆様に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

しかし、この災害により、日本国民がある意味で一体感を持つ事が出来、改めて国家・郷土愛と人々の絆の強さ・尊さを確認できたと感じています。

日本人は、必ずやこの逆境から立ち直れると信じておりますし、私たち一人ひとりが出来うる範囲で全力で復興に努力・協力していこうではありませんか。

佼成病院も、医療過誤が発生して患者様始め、関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をお掛けした事を、改めてお詫び申し上げます。

今後、再発防止に向けて、全身全霊を傾け安心・安全な医療を提供する組織と体制を構築し、社会から信頼される病院作りに、努力することをお誓い申し上げます。

一方、念願の新病院建設は、基本設計が纏まり、現在実施設計が進行中で、平成26年の開設に向けて本年秋に着工の予定です。

新病院の開設時には、最新の医療機器等を設置し、診療体制を整備して、新生佼成病院が、急性期病院として真に地域に貢献できる病院となるよう、今年は、改革・改善のスタートの年と位置付け、職員全員で取り組んでまいりましょう。具体的には、各科の横の連携の強化と地域医療機関等との、医療連携の推進により、地域と一体化した医療システムの構築です。

また、各職場ごとに業務改善・改革を行うとともに、接遇教育を徹底し、患者様に満足して頂けるサービスの向上です。

職員全員が「心を一つに」叡知を結集して、聖域なき改革・改善のスタートの年と致しましょう。

職員各位の、ご努力とご協力を願い申し上げ、新年のご挨拶と致します。

## 「基本」「原点」に戻る

看護部長 小室 早苗

新年明けましておめでとうございます。

皆様にとりまして、最良の一年なりますことをご祈念申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災という未曾有の大災害が発生してしまいました。当院では立正佼成会本部とともに救護活動を行いました。私も、その救護活動に参加致しました。そこで、被災した人々と直接触れ合いましたが、想像を絶するような経験をしてきた人々との対話には、返す言葉もなく、ただただ聞くことしかできず、何も出来ない無力さを痛感致しました。被災地の一日でも早い復興を心から願っております。

私達は今まで自分達の利便性ばかりを追求するのみで、あまりにも自然を軽視し、自然と共に存することの大切さを忘れてしまっていたのではないかと、深く考えさせられました。

新しい年を迎え、私達に何ができるかを考えると、まず何よりも「基本」に戻ること、言い換えれば、「原点」に戻ることが大切なのではないかと考えます。

日常の生活に追われることにより、私達は、慣れの中で基本を忘れてしまつたのではないでしょうか。当たり前のことが、当たり前ではなくなった状況の中で、普通の生活をすることがいかに大事かを思い知らされた一年でし

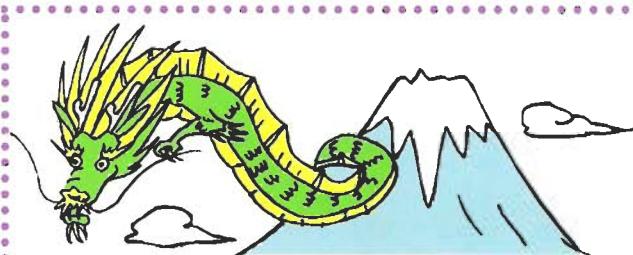




た。そのような中で、私達に夢と希望を与えてくれたのは、「なでしこジャパン」の活躍でした。彼女達は世界の選手から比べると、体力的に劣る中、日本人特有のテクニックを生かし、決してあきらめることなく粘り強く世界の強豪たちに立ち向かい、見事ワールドカップ優勝を果たしました。彼女達に言えることは、基本に忠実にしっかり自分達に課せられた役割りを果たすことによって、あの快挙を成し遂げられたのではないかと思っております。

今年の夏も、ロンドンでオリンピックが開催されます。ここでもきっと日本の若いアスリート達が私達に感動と希望を与えてくれるでしょう。今からとても楽しみです。

また、5月には東京スカイツリーも開業し、新しい時代の幕開けを予感させられます。色々と期待高まる辰年を迎え私達も、今こそもう一度原点に戻り、慣れに流されるのではなく、しっかりと基本を踏まえて地域の皆様の、信頼と期待に沿えるような病院を目指し、職員一同心合わせて頑張って参りますので、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



## 辰年生まれの抱負

辰年生まれの職員数名より、今年1年の抱負や辰年の感想を聞いてみました。



阪神優勝 !! 一緒に応援しましょう !!

健診センター（栄養士）濱田美恵子



家族みんな健康で笑顔のたえない生活をくりたい。

6・7西病棟（看護師）渡邊かおり

当院腎センターには辰年生まれの職員が4人もいます。

その中でも平均年齢を上げてしまっている私です。

腎センター（看護師）依田典子



辰（龍）というのは、死ぬとまっすぐに昇る。

そして、天から多くの人を導くことができるんだそうですよ。

医事課（課長）渡邊修孝

## 新入職医師紹介

①氏名 ②診療科 ③入職年月  
 ④経歴 ⑤専門医・専門分野等  
 ⑥担当・外来日等 ⑦抱負

- ① 前田 久美子  
 ② 緩和ケア科  
 ③ 平成23年12月  
 ④ 平成11年大阪大学卒業  
 東京大学病院入職  
 青梅市立病院を経て  
 佼成病院入職  
 ⑤ 外科学会外科認定医専門医  
 ⑥ 月・水・金（午後）完全予約制  
 ⑦ 豊かな社会へ、日本に貢献できますよう精進  
 いたします。



- ① 金子 奏一朗  
 ② 整形外科  
 ③ 平成23年12月  
 ④ 平成21年福井大学卒業  
 平成22年東京大学医学部付  
 属病院初期研修  
 平成23年おおたかの森病院  
 を経て佼成病院入職  
 ⑤ 整形外科一般  
 ⑥ 火曜日・第1・3・5土曜日外来  
 ⑦ 時間外・救急搬送を受入れ、  
 整形外科外傷の受入れ数を増やしたいです。



- ① 山本 圭  
 ② 内科  
 ③ 平成24年1月  
 ④ 平成14年東京医科大学卒業  
 平成14年〃大学第4内科  
 (消化器内科) 入局・臨床  
 研修医  
 平成16年〃臨床研究医  
 平成18年新潟県長岡市立川総合  
 平成20年東京医科大学を経て佼成病院入職  
 ⑤ 日本内科学会認定医 日本消化器内視鏡学会  
 専門医 日本消化管医長科認定医 日本ヘリコ  
 バクタ-学会H.pylori感染症認定医  
 日本消化管学会胃腸科認定医  
 ⑥ 外来日：水曜日・土曜日（午前中）  
 専門：消化器内科一般  
 ⑦ 消化器一般を専門としていますが、特に胃・  
 大腸の治療を中心に行ってます。  
 安全第一で地域医療に貢献できるよう、診療  
 に励みたいと思います。



- ① 水上 愛弓  
 ② 小児科  
 ③ 平成24年1月  
 ④ 平成5年東京女子医科大学卒  
 平成7年〃循環器小児科入局  
 長野県立こども病院  
 聖隸浜松病院  
 柿原記念病院を経て佼成病  
 院入職  
 ⑤ 日本小児科学会専門医  
 日本小児循環器学会専門医  
 PALSプロバイダー  
 ⑥ 専門外来：月曜日（午後）心臓科で小児心臓  
 外来  
 ⑦ どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 診療科紹介

### 整形外科

#### 地域に根ざした医療を

当科は楽しく働ける職場づくりをモットーに、医師・看護師・理学療法士・コメディカルの連携を密に行なうことをひとつの努力目標に掲げ、より良いチームワークづくりに励んでいます。

現在は三浦部長のもと、小島医長・医員2名の計4名の医師で診療を行っています。うち2名の医員は東京大学整形外科学教室より派遣されています。

地域に根ざした医療を心がけていますが、診療圏は中野区内にとどまらず杉並区・渋谷区・世田谷区ほか病診・病病連携を通じて広く患者さんを受け入れています。

毎週月曜日と木曜日の夜は、医師・理学療法士で入院患者さんのカンファランスを行います。一人一人の病歴・治療計画やリハビリの進み具合をチェックします。

木曜日の朝は、医師・看護師で入院患者さんのカンファランスを行います。治療や看護上の問題点を話し合います。

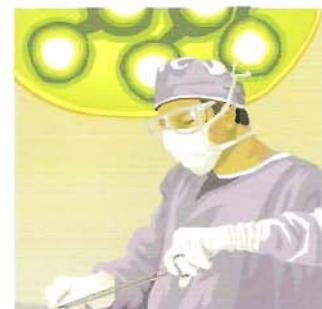
「超高齢化社会」に突入し、ご高齢の患者さんを診療することは珍しくなくなりました。多くの方は他の病気や合併症を抱えておりますが、その分良くなつたとき患者さんの笑顔を見ることは我々にとって感慨深いものがあります。どうぞ安心して整形外科を受診してください。



木曜日朝のカンファランス



・金子 奏一朗 医師  
・小島 一則 医長  
・鞠負 耕史 医師  
・三浦 信明 部長



## 診療科紹介

### 循環器内科

#### 禁煙外来を新設

循環器内科では心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患、心不全、不整脈、弁膜症、高血圧症などの心臓病全般を対象として専門的な診断および治療を行っております。特に心臓カテーテル検査・治療に関しては、患者さんの負担軽減を目的に手の動脈（橈骨動脈）からの検査・治療を主体としており、治療後もすぐに歩けるようにしています。また東京都CCUネットワーク（東京都心臓救急医療連絡協議会）にも加盟しており、急性心筋梗塞や急性心不全などの急性期心臓疾患の患者さんを積極的に受け入れております。

一方、地域に根ざした病院として近隣の病院・診療所の先生方との医療連携にも力を注いでおります。現在常勤医4名で地域の皆さんに頼りにされる診療科をめざして日々がんばっておりますので、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

最後に平成24年より禁煙外来を新たに始めました。喫煙は癌、心血管系疾患、脳卒中、肺気腫などの危険因子であり、ニコチン依存症というりっぱな病気です。この病気を治すためには専門的治療が必要です。禁煙を希望される方はぜひ禁煙外来を受診してください。



・亀山 欽一 医師

・河口 正雄 部長

・下山 祐人 医師

・鈴木 和仁 医長

・吉崎 真澄 医師

## クリニック訪問⋯⋯ 中村診療所 中村 洋一 先生

### <プロフィール>

昭和56年、帝京大学医学部をご卒業後、板橋小豆沢病院にて一般外科研修、その後帝京大学附属病院にて救命救急センター研修などを経て平成12年より、お父様の中村寅郎先生の後を継ぎ、中村診療所所長として在宅医療を含めた地域に密着した医療を展開されておられます。また漢方薬と西洋薬を併用する統合医療にも取り組んでおられます。

ご趣味はテニスと料理。地域の講演会などの折、抗酸化食材を使ったアンチエイジング食や脳に良い食事などを実際に調理され、皆さんから大変好評のようです。



中村 洋一 先生

今年から新たに始まる新コーナーで、毎号近隣のご開業の先生方を訪問させて頂き、佼成病院へのご要望など様々なお話を伺い、今後の病診連携の向上に繋げていきたいと思っております。

記念すべき第1回は、「中村診療所 中村洋一 先生」です。

### ～介護と医療を繋ぐ在宅医療の担い手として～

聞き手：本日はご多忙のなか、お時間を頂きありがとうございます。さっそくですが在宅医療への取り組みについて伺えますでしょうか。

先生：現在60名ほどの在宅患者さんを受け持っております、介護保険制度がスタートしてから今のようなスタイルになりましたが、それ以前の昭和40年代から父が往診は良くやっていました。私が平成元年に戻ってきからは自分でも往診に行くようになりました。その頃から保険制度も現実に追いついてきたように思います。

医師もケアマネージャーの資格を持っていた方が色々な状況も良くわかるだろうということで、資格を取得しました。同時にケアプランを作成する居宅介護支援事業所も立ち上げました。介護の必要な人たちの多くは医療が最初の入り口だということがわかつてきましたので、患者さんが戸惑うことは少ないだろうと予測しましたところ、現実そうなってきたわけです。

現在ケアプランを立てている方は60名近くいますが重度の方が多く、医療ニーズの高い方が多くなっています。地域で高齢者が増えてくると高齢者の疾患に対応した診療体制を作る必要があるということで、リハビリテーションを導入したり、入院するまでもないが様々なトラブルを抱える方たちへの即応体制も必要で、看護師さんを増員して体制を整えました。



聞き手：60人もの患者さんを診ていらっしゃると、毎日相当大変ではございませんか。

先生：日中は事務・看護師・ケアマネージャーの応対で済む場合もありますし、定期的に回ることによって危険な芽を早く摘み取ることもできると思います。

患者さんやご家族のご配慮もあると思いますが、深夜に電話が鳴るのは月に1～2件でしょうか。緊急の往診も年に数えるほどしかありません。

聞き手：正に地域の方々に密着した診療をされている、ということなのでしょうね。

先生：万が一の時や対応できない時は、佼成病院の救急外来で診てもらえますし・・・。

良くあるケースとして、尿が出なくなってしまった時などは病院に頼らざるをえませんので。



中村診療所

### ～職員を自前で育成する気概を持って～

聞き手：日頃の受診依頼等でもまだまだ地域の先生方にご不便をおかけしている点も多々あると思いますが、当院への今後のご要望をお聞かせ頂けますでしょうか。

先生：高齢者は多病であることが多く、在宅医療は基本的にすべてを診ているわけですので、それを総合的に診てくださる先生方がもっといてくださると心強いのですが・・・自分の専門外は診ないということでは困ってしまうわけです。

例えば佼成病院ではないですが高齢者の肺炎症例を断られたケースでは、呼吸器内科の専門医がないので診られませんと言われたのですが、肺炎は医者としてまず診察するのが基本ではないでしょうか。

専門分化が進み過ぎると、得てしてそういうトラブルが起こってしまうということではないでしょうか。佼成病院には総合力をもった医師を育ててほしいという思いがあります。

従来から医師の確保については大学医局に依存するところが大きかったと思いますが、そうするとその先生方は地域との連携が、特に医師会との関係性が薄くなってしまう気がします。

私は佼成病院の研修管理委員会にも外部委員として出席させて頂いていますが、これからは地域の患者さんをしっかり診ていく意識をもった医師を育てていこうという視点を持って頂きたいと願っています。

聞き手：各専門分野を持っており守備範囲が狭い傾向があります。その点については内科のなかでも検討を始めており、総合診療科のような組織作りが出来ればとも思い、これから本格的に取り組んでいきたいと思っております。紹介元の先生が入院患者さんの様子を見に来られるような場合も、当院ではお受け入れの体制が不備で、ご迷惑をおかけしている事があろうかと思いますが、そういうところからきちんとした体制を作つてまいりたいと思っております。

先生：医療連携の観点から、シームレスな関係を築いていきたいと思っておりますので、今後のあり方としては、たとえば入院患者さんの診療の過程で紹介元の医師にお声かけを頂き、今後の治療方針などを相談できるような体制づくりをお願いしたいと思います。顔の見える意見交換ができると願っております。これからますます増えるであろう多病を抱えた高齢者を、医療保険制度と介護保険制度で支えていくためには、文書のやり取りだけでは限界があると思います。たとえば退院間際の患者さんがいる時などは、双方の医療関係者が直接会って話し合うことにより、退院前にしておくべき検査の確認や退院後の治療計画などを適時適切に決めることが出来ると思うのです。たとえば大腿骨頸部骨折で紹介入院となった患者さんで、その方の糖尿病に関しては院内では内科の先生に相談されているのでしょうか、退院時の状況がどうなっているのかということについては整形外科からの報告書には記載がない、というような事例もありました。

聞き手：このたび糖尿病を専門とする常勤医が入職しましたので、その部分に関しましてはこれからはきちんとご報告ができますが、その他全般の症例に関しましても紹介元の先生にきちんとお返事がお返しできるよう取り組んでまいりたいと思っています。

先生：実は先日も佼成病院の糖尿病の先生に、私の所でインスリンを導入した患者さんなので返してください、という手紙を書きました。外科で悪性リンパ腫が見つかって、その関係から糖尿の方の管理も・・・ということでズルズルとなってしまったようです。ところが佼成病院に行くと半日潰れてしまう、ということで患者さんから中村診療所に戻してもらいたい、という要望があったわけです。そうしたところ、抗がん剤治療に伴い糖尿が悪化するような様々なリスクがあることがわかり、ここでも双方の医師同士のディスカッションが必要だと痛感したわけです。また、糖尿病の専門医の先生が地域の開業医の先生方に集まって頂いて、スマートミーティングのような場を設けて、紹介患者さんの状況についてのやり取りや勉強会などをしていただけるような企画も今後期待したいと思っています。

聞き手：本日は地域医療にかける先生の情熱と、佼成病院への熱い期待をお聞かせいただくことができ、身の引き締まる思いです。これからも職員一丸となって地域に根差した医療を展開できるよう取り組んで参る所存です。

本日は病院にとって貴重な数々のご指摘、誠にありがとうございました。



取材風景

## クリスマスコンサート



昨年12月10(土)に診療センター1階待合室でボランティアによる第9回クリスマスコンサートが開かれました。初回は仏教の病院がクリスマス行事とは如何なものかと心配しましたが、当時の林直諒院長の「国民的行事でしょう」という一言で実現しました。

今年は「声のオーケストラ『アカペラ カンタービレ！クラシック』」という合唱団の学生や社会人の若者が瀬川忍指揮者のもと、アカペラで「カルメン」や「天国と地獄」等のクラシック曲や「きよしこの夜」等のクリスマスソングを美しいハーモニーにさわやかな笑顔を添えて楽しく聴かせてくれました。

当日は約40名の車椅子の患者さんの移送を職員にも手伝ってもらいましたが、それに介助歩行の方やそのご家族をはじめ職員やボランティア等で会場はほぼ満員でした。患者さんはクリスマスの飾付がされた待合室やツリーに思わず「ホ～」と一言。最初は硬かった表情も次第にほぐれ、最後に「ふるさと」を皆で歌う頃には名残り惜しそうで、アンコールの後の「ふるさと」の再合唱の声はそれ迄にも増して大きくて驚きました。お戻り後の各病室では参加できなかった方へプログラムを見せながら楽しそうに話してもうひとつ盛り上がりしているところもありました。若者の素敵な歌声にエネルギーも添えてもらった素敵なクリスマスプレゼントでした。



## キャンドルサービス

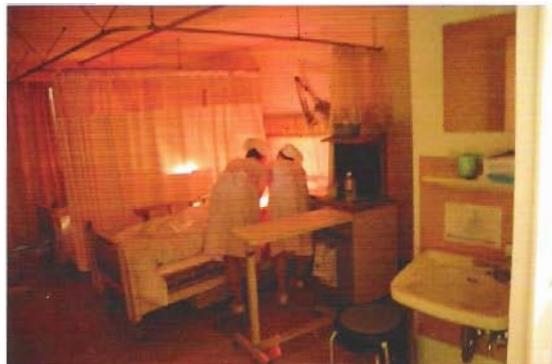
(佼成看護専門学校)



キャンドルを灯し歌声清らかに

平成23年12月8日 佼成看護専門学校では、毎年、お釈迦様が悟りを開かれた12/8「成道会」の日に、看護学生の実習先である佼成病院でキャンドルサービスを行っております。

学生は数グループに分かれ、歌の合唱とともに各病棟を訪問し、入院されているすべての「患者様が早く良くなりますように」と、各自思いを込めて作ったメッセージカードを配らせて頂きました。



ベットサイドでカードの読み上げ



管理師長より心構えを伝授

## 認定看護師の紹介

認定看護師とは、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者をいい、水準の高い看護実践を通して看護師に対する指導・相談活動を行う者をいう。

認定看護は以下の21分野を特定しています。(2010年2月現在)

救急看護、皮膚・排泄ケア、集中ケア、緩和ケア、がん性疼痛看護、がん化学療法看護、訪問看護  
感染管理、糖尿病看護、不妊症看護、新生児集中ケア、透析看護、手術看護、乳がん看護  
摂食・嚥下障害看護、小児救急看護、認知症看護、脳卒中リハビリテーション看護  
がん放射線療法看護、慢性呼吸器疾患看護



認定看護分野：緩和ケア

氏名：高澤和枝

資格取得日：2005年8月1日

所属：ビハーラ病棟勤務

**★抱負**

患者様の身体や心の痛みや辛さに向き合い、和らげるための工夫をし続けていきたいです。緩和ケア病棟以外の患者様・ご家族、患者様の苦痛を和らげるために、日々頑張っている医療者の皆さんのお役に立ちたいと思っています。急性期病棟・外来・地域へと関わる場所を広げたいと考えています。私の持ち味・穏やかで和やかな雰囲気を活かして、相談しやすい状況をつくっていきたいです。

**★活動報告**

痛み・息苦しさ・だるさ等辛い症状や精神的ケアへの対応、ご家族へのケア、緩和ケア入院についての電話相談、緩和ケア外来、緩和ケア認定看護師養成課程実習指導、老人介護施設等での講義。



認定看護分野：小児救急看護

氏名：床次 英美（とこなみ ひでみ）

資格取得日：2007年7月13日

所属：6・7西病棟

**★抱負**

子どもを看護するときに大切にしていることは、子どもが用いる非言語的サインを理解して適切にアセスメントをすることです。いつもとは何か違う…何かおかしい…という鋭い直感が子どもの変化を捉える時には必要です。常に五感を磨いて子どもの変化にいち早く気付くことが出来、また子どもが一緒にいて安心出来る母のような存在を持ちあわせた看護師でありたいと思っています。

**★活動報告**

0~15歳であれば重症度・緊急性は関係なくすべての児が対象になります。

これからも子どもの成長過程に携わっているという責任を持ち、子どもの気持ちに寄り添える看護、そしてご両親が安心して預けられるような看護を目指して頑張っていきたいと考えています。また、子ども自身の頑張る力を引き出せるような処置の方法、遊びの工夫などにも力を入れて頑張っていきたいと考えています。よろしくお願ひ致します。



認定看護分野：手術看護  
氏名：服部淳子  
資格取得日：2008年6月1日  
所属：中央手術室

#### ★活動報告

手術室の看護師は、手術を受けられる方の不安な気持ちに寄り添って、安心して手術に臨むことができるよう手術室の環境を整えています。手術室の中での苦痛が少しでも緩和されるよう、根拠に基づいた標準的な看護をするべく学習会に参加したり、書籍や学会発表で紹介されている看護援助方法・用具を取り入れるなどしています。安全に手術を終えられ、手術前の生活に戻ることができるようお手伝いさせていただきます。



認定看護分野：皮膚・排泄ケア  
氏名：菊池 恵美子  
資格取得日：2009年6月1日  
所属：6東病棟

#### ★抱負

皮膚・排泄ケアは創傷・オストミー・失禁について看護活動しています。創傷は主に褥瘡になりますが、近年在院日数の短縮化により、在宅での有病率が増加傾向にあります。今後は院内のみならず、在宅へ活動の場を広げていきたいと考えております。オストミー（人工肛門を造設された方）の退院後のケアを外来看護師の教育とともに継続して行います。失禁に関しては相談できる窓口の開設を検討していきたいです。

#### ★活動報告

皮膚科多田部長、畠中看護副部長、栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、総務課の方と一緒に褥瘡回診を一ヶ月に1回行っています。  
毎週月曜日の午後、外科外来でストーマ外来を行っています。



認定看護分野：緩和ケア  
氏名：清水 由佳  
資格取得日：2009年6月1日  
所属：ビハーラ病棟勤務

#### ★抱負

現在は緩和ケア病棟に所属し、入院される患者さんの痛みのアセスメントやケアを、病棟スタッフとともにしています。また、各病棟の患者さんの病気の早期から、苦痛や不安を緩和するための相談や指導、リンパ浮腫に関する指導・相談、リンパドレナージや圧迫療法を行っています。患者さん一人ひとりに沿った看護ケア、リンパ浮腫治療・指導、症状緩和を行い、その方らしい生活を過ごせるようサポートさせていただきます。

#### ★活動報告

症状コントロールやリンパ浮腫に関する相談・指導。特に今年度は、リンパ浮腫指導管理に力をいれ、わかりやすい指導・説明が出来るようにしていきたいと思います。

# 交成病院外来診療表

平成24年1月6日現在  
中野区弥生町5-25-15  
交成病院 医療連携室  
03(5340)5104(直通)

		月	火	水	木	金	土	備考
内科	一般	午前	小林 陽二	橋本 起一郎	小林 陽二	橋爪 久美子	中村 隆光	石井 章子
			前田 きみ子	中村 隆光	前田 きみ子	平尾 健太郎	松永 直久	★ 午後は完全予約制
		午後					小林 元俊	
	呼吸器	午前					須山 出穂	
		午後		★中田 潤子				杼窪 豊(2.4週)
	消化器	午前	清水 雅文	清水雅文・酒井義浩	宮田 祐樹・山本 圭	竹下理恵・酒井義浩		宮田 祐樹・山本 圭
		午後		山口 法隆			山口 法隆	
	血液	午前						
		午後						
	腎臓	午前	外丸 良			宮岡 良卓		
		午後			★外丸 良			
	神経	午前			岩崎 正知			岩崎 正知
		午後						
糖尿病	午前	滝澤 美保	石澤 香野			松河 敬子		
	午後		★石澤 香野	★高木 三貴	★登坂 祐佳	★松河 敬子		
精神科	午前	★中野 正寛	★中野 正寛	★中野正寛・★大下隆司		★中野 正寛	★中野正寛	★完全予約制(外来のみ) 初診は紹介状が必要です
	午後			★大下 隆司				
小児科	午前	外医	多田 光	多田 光	多田 光	多田 光	多田光(1.2.3.5週)	
		外医	外医	外医	外医	外医	外医	午後外来・月～水15:00～19:30 木17:00～19:30 金13:00～19:30 (17時以降は急患室)
	午後	外医	外医	外医	外医	外医		
小児救急科	午前	★服部圭太・近田照己	★服部圭太	★近田 照己	★服部圭太	★服部圭太	★服部圭太	★は原則予約制。 月・土午前は交替制。
	午後	★服部圭太	★近田 照己	★服部圭太	★近田 照己	★服部圭太	★服部圭太	★服部圭太・近田照己
外科	一般	秋丸 琥甫	秋丸 琥甫	外来担当医	土屋 喜一	秋丸 琥甫	勝野 晓(1.3.5週) 川本聖郎(2.4週)	★は予約制で13:00～15:00
		勝田 美和子			富士崎 隆	★秋丸 琥甫		
	午後	★秋丸 琥甫	★秋丸 琥甫	芦山信史・遠田佳子(交代)				小児は14:00～15:00
	小児							
	呼吸器	午前			三浦 弘之			
		午後			三浦 弘之			
	肛門	午前		内山 正一				
	乳腺	午前			飯田 信也			
脳神経外科	午前	北川 亮	南本 新也	北川 亮	森 良介	中村 文	北川 亮	
整形外科	午前	三浦 信明	佐藤 功一	小島 一則	佐藤 功一	三浦 信明	佐藤功一・小島一則・金子奏一朗(1.3.5週)	* 鞠負は「ゆきえ」
		佐藤 功一	小島 一則	鞠負 耕史	真鍋 典世	佐藤 功一	三浦信明・鞠負耕史(2.4週)	
	午後	小島 一則	金子 奏一朗					
形成外科	午前	犬塚 潔	朝本 有紀			犬塚 潔	★神保 好夫	★は原則予約制
		手術の為休診		手術の為休診		朝本 有紀	犬塚 潔	* 初診時の予約も可
	午後		朝本 有紀			外来担当医		火・金午後は13:30～15:00
循環器科	循環器内科	午前	★河口 正雄	★河口 正雄	★吉崎 真澄	★河口 正雄	★河口 正雄	★は予約制
		吉崎真澄(初診)	笠井夕美子(初診)	小池綾未(初診)	★外来担当医	吉崎真澄(初診)	吉崎真澄(初診)	
	午後	亀山欽一	下山 祐人	鈴木 和仁		鈴木 和仁	★河口 正雄	午後は14:30開始
		★吉崎 真澄			★河口 正雄	★河口 正雄		
	心臓血管外科	午後		★齋藤博之(2週のみ)		★三枝 直樹		火14:00、金13:30開始
耳鼻咽喉科	午前						★下山 祐人	完全予約制 火曜13:30～16:00 土曜8:30～11:30
	午後		★下山 祐人					
	小児	午後	★冰上 愛弓					小児は14:00開始
産婦人科	婦人科	午前	木村 英三	中野 真	高尾 美穂	木村 英三		
		小林 重光	岡村 恵子		小野寺 潤子	木村英三・高尾美穂	交替制	
	産科		小野寺 潤子	青木 陽子	中野 真	高尾 美穂	岡村 恵子	
耳鼻咽喉科	午前	櫻井 恵梨子	河野 淳	櫻井 恵梨子	櫻井 恵梨子	櫻垣 太郎	櫻井 恵梨子	*は予約制
		西山 信宏		清水 雅明	森原 晃		交代制	
	午後	★ぬまい・難聴外来	★補聴器外来	船戸 宜利	★特殊検査外来	北村 剛一		午後は13:30～15:30
眼科	午前	椎名 康子	沖坂 重邦	堀内 永子	堀内 永子	堀内 永子	堀内 永子	
		飯塚 佐知子		飯塚 佐知子	飯塚 佐知子	飯塚 佐知子	飯塚 佐知子	
	午後	椎名康子・飯塚佐知子	堀内永子・飯塚佐知子			堀内永子・飯塚佐知子		午後は13:30～15:00
皮膚科	午前	多田 弥生	梅原 嘉一	多田 弥生	多田 弥生	梅原 嘉一	多田 弥生	
	午後	梅原 嘉一	川口 真喜子	梅原 嘉一	川口 真喜子	川口 真喜子	梅原嘉一・川口真喜子	*は予約制 14:00～16:00
泌尿器科	午前	富田 雅之	鈴木 博雄	富田 雅之	鈴木 博雄	富田 雅之	鈴木 博雄	
	午後		★川口 真喜子	★乾癬外来				
歯科	午前	秋庭 忍	浪越 智子	秋庭 忍	秋庭 忍	秋庭 忍	秋庭 忍	予約制(初診は予約なし)
	午後	相田 純久			相田 純久			月・木曜のみ8:30～11:30
緩和ケア	午後	★林茂一郎・前田久美子				★林茂一郎・前田久美子		*完全予約制 13:00～
	午後							月曜13時～木曜19時～初診のみ
放射線科	治療	中村 香織			中村 香織			
	午後							
漢方	午前						★平崎 能郎	完全予約制(外来のみ)
							★笠原裕司・地野充常	

## ○ 診療受付時間

Page 15

	午前 (*は予約制)		午後 (*は予約制)	
内科	月～土	8：30～11：30		
精神科	月火水金土	*8：30～11：30 (木曜は休診)	水	*13：30～15：30
小児科	月～土	8：30～11：00		月～水 15：00～19：30 木17：00～19：30 金13：00～19：30 *17時以降は急患室にて。
小児救急科	月～土	*8：30～11：00	月～金	*14：00～16：30
外科	月～土	8：30～11：30	水(小児) 月・火・金	14：00～15：00 13：00～15：00
脳神経外科	月～土	8：30～11：30		
整形外科	月～土	8：30～11：30		
形成外科	月水金土	8：30～11：30	火金	13：30～15：00
循環器科	月～土	8：30～11：30		
産婦人科	月～土	8：30～11：30		
皮膚科	月～土	8：30～11：30		
耳鼻科	月～土	8：30～11：00	火水金	13：30～15：30
眼科	月～土	8：30～11：30	月火金	13：30～15：00
泌尿器科	月～土	8：30～11：30		
歯科	月～土	8：30～11：30		
緩和ケア外来	月・木曜のみペインクリニック外来	8：30～11：30	月水金	*13：00～
放射線科				*月曜13：00～・木曜15：00～初診患者さんのみ
漢方外来	土	*8：30～11：00		

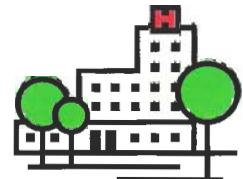
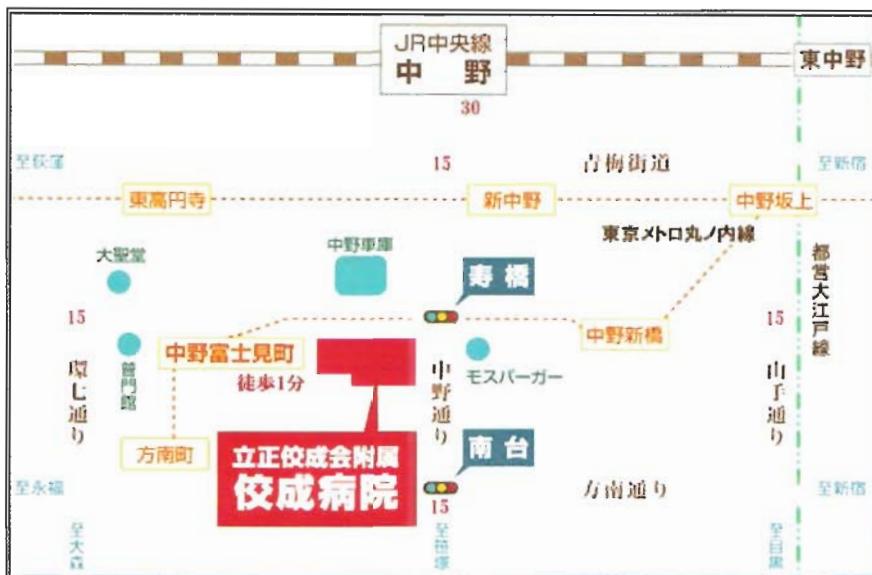
## ○ 紹介患者さんの連携窓口

外来診療のお申し込み	医療連携室 [平日9:00～17:00土曜日14:00まで] 電話 03-5340-5104 (直通) FAX 03-5340-5104 (直通)
緊急診療のお申し込み	医療連携室 各科外来診療医
夜間休日診療のお申し込み	当直医 (内科・外科系・産婦人科・循環器科はCCU当番日のみ) *小児科の休日診療はありません
放射線科検査ご予約 (X-P・CT・MRI・RI ・超音波・注腸)	放射線科受付 M R I : 03-5340-5566 (直通) C T その他: 03-5340-5770 (直通)
緩和ケア病棟についてのご相談	扶友センター緩和ケアビハーラ病棟 [平日 9:00～17:00] 電話 03-3383-1281 (代表)
療養型病床についてのご相談	医療連携室 医療福祉相談 [平日 9:00～17:00] 電話 03-5340-5108 (直通)

ご不明な点・報告書の未着等ございましたら、  
医療連携室までお問い合わせください。

医療連携室 担当: 渡辺・西森

# 周辺地図



# 周辺拡大図



## 真觀とは・・・

立正佼成会の庭野開祖さまより、お示し頂いた創立理念です。

「真觀」とは、法華經の觀世音菩薩普門品にある一句で、この世の人々が直面している苦（「憂・悲・苦・惱」一心配や不安、悲しみ、苦しみ、悩みー）について、それぞれの姿・形・有り様（諸相）をつぶさに知り尽くすと同時に、その本質を究めて見とおすこと（菩薩の智慧）と言えます。

身体の病だけを治療する病院ではなく、心身の病を診療し治癒せしむる病院でありたいと願っております。

## 編集後記

今年の冬は例年にも増して寒さが厳しく感じられます。昨年の大震災から一年目を迎えようとしているこの時期に、復興に向けて日本人が心ひとつに自分でのきることに取り組んでいく熱い心意気だけは持っているものです。

広報誌も第3号を発刊するに至り、新たな企画もいくつかスタートさせて頂きました。今年も地域の皆様のご期待に添えるよう広報誌を通して自己研鑽に励んでいきたいと思います。

編集委員

ホームページもご覧ください  
<http://www.kosei-hp.or.jp>



立正佼成会附属佼成病院

〒164-8617 東京都中野区弥生町5-25-15  
TEL 03(3383)1281(代表)  
Fax 03(3382)8972